

令和 6 年度 富谷市立明石台小学校 学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 4 日
学校関係者評価委員会

氏 名
氏 名
氏 名
氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○まなび合う子（確かな学力）「正しく判断し、行動する」

教育に関心の高い家庭が多く、多くの子供は落ち着いた学習態度である。問題が発生したときに子供自身が状況を正しく判断し、進んで行動できるようにするために、今後も教員間で情報を共有し、保護者と連携しながら指導にあたってほしい。

○ささえあう子（豊かな心）「社会の一員としての自覚をもち行動する」

学習発表会、運動会、そよかぜまつりなど、学校行事や児童会行事で子供たちの生き生きとした姿を見ることができた。たてわり活動など、学年間の交流が図られる行事で心を育て、周囲と協力したり、自分のよさを発揮したりできるような子供たちを育成してほしい。

(2) 成果について

- ・ 学校がメールやホームページなどで定期的に情報発信することは保護者の信頼につながっていくのではないかと。今後も継続してほしい。
- ・ 学年相互乗り入れによる授業を取り入れるなど、担任以外の教員も子供の様子を見て、きめ細やかな指導にあたっていた。
- ・ 支援の必要な児童には校内ケース会議を設定し、個別の支援を続けているということである。このことが児童や保護者の安心感につながっているのではないかと。
- ・ 大和警察署生活安全課による「非行防止・インターネット安全教室」、仙台弁護士会による「いじめ防止講座」など外部機関と連携した取組は教育的効果が高い。今後も有識者や専門機関との連携を進めてほしい。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・ いじめ対策、不登校支援について、早期発見に努め、子供や保護者の思いに寄り添い、支援にあたってほしい。
- ・ 子育てに対する保護者の不安が年々大きくなっている。家庭との信頼関係構築のため、今後も誠意ある迅速な対応をお願いしたい。
- ・ 防災に関わる地域連携を進める必要がある。次年度以降、検討してほしい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	・HPやおたよりのこまめな情報発信により、子供たちの様子が伝わってくる。 ・保護者メールを活用した連絡や学校ブログを効果的に運用している。 ・コロナ後の換気や手洗いの習慣でインフルエンザ等の学級閉鎖が現時点でないことに感心した。 ・たてわり活動で異学年の交流の機会があることは大変よい。児童会まつりも復活したとのことで、コロナ禍で様々な体験不足の影響が見られることから大事にしてほしい。
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	B	
教育課程	1 確かな学力	A	・学級毎に学習形態を工夫たり、低学年から上手にタブレットを活用して授業が進められ、集中して取り組んでいた。 ・学力が高く、全体的に落ち着いているが、保護者アンケートではきめ細やかな指導、基礎的、基本的な学習内容の定着についての数値が前年度より低かったので、個別の対応も必要と思われる。 ・体力、運動能力向上に向けて、業間や昼休みに校庭や体育館で体を動かす機会を増やしているということなので、改善が期待できる。 ・夏休みに全ての保護者との二者面談を実施し、信頼関係を構築することは今後も継続してほしい。
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	A	・支援の必要な児童に対して支援員が配置されることによって、安心して教室で学習できる環境になっていた。今後も保護者と連携しながら対応してほしい。 ・感性豊かな児童の作品が校内に掲示されていた。日頃の指導の成果である。 ・図書館の本を増やし、さらに充実することを期待。 ・警察による非行防止教室、弁護士によるいじめ防止教室など、外部機関と連携した取組は教育効果が高い。今後も一層の連携を図ってほしい。
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		B	・指定避難場所として地域の防災拠点になるため、今後、地域との連携が必要。
いじめ問題への取り組み		B	・支援員や教科担任など、担任以外の関わりがあることで、子供の小さな変化に気がつきやすいのではないか。今後もアンケートや保護者面談等で早期発見に努めてほしい。